

臨床医学概論

Clinical Medicine (review)

単位数：2単位

- | | |
|--------------------|----------------|
| ○木下芳一 教授：内科学第二 | 杉本利嗣 教授：内科学第一 |
| 田邊一明 教授：内科学第四 | 小児科学講座教授の予定 |
| 織田禎二 教授：循環器・呼吸器外科学 | 秋山恭彦 教授：脳神経外科学 |
| 齊藤洋司 教授：麻酔科学 | 佐倉伸一 准教授：手術部 |

1. 科目の教育方針

人体を対象とする経験科学たる臨床医学の基本理念、方法論について教授するとともに、臨床研究を進めるに際しての科学的方法論の原理を理解させる。本科目は臨床医学に関係した研究を始める修士課程の学生が知るべき臨床医学の現状についてその概略を解説することを目的としている。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 臨床医学の現状を理解する。
- 2) 臨床医学を発展させるための方法を理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 臨床医学の歴史を説明できる。
- 2) 臨床医学の現状と現在の限界に関して説明できる。
- 3) 臨床医学を発展させるための研究方法を説明できる。
- 4) 臨床研究の方法と問題点を説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、セミナーの形を取り、教員各員のオムニバス形式を基本とする。

4. 成績評価の方法

講義などの出席とレポートなどを総合評価して行う。

5. 使用テキスト・参考文献

参考図書として カルテの余白 近藤俊文 岩波書店
島根大学医学部附属病院の最新治療がわかる本 バリューメディカル

6. 教育内容

- 1) 発生成育過程にある個体（胎児、新生児、小児）の特性と臨床医学研究の基本的な考え方、研究の方法論を理解させる。
- 2) 医学における症候論、臨床検査の立案と意義、検査結果の解析法から診断に至る道筋を学ぶことにより、臨床医学の診断学の考え方を学ばせる。
- 3) 臨床医学で用いられる形態診断法、機能診断法の役割とその基本概念を学ぶ。
- 4) 臨床の現場での生活習慣病、癌の診療の現状と問題点を解説し、その解決のために必要な研究内容を討論する。

回	授業内容	担 当
1	消化器疾患の臨床医学 1	木下芳一
2	消化器疾患の臨床医学 2	木下芳一
3	内分泌疾患の臨床医学 1	杉本利嗣
4	内分泌疾患の臨床医学 2	杉本利嗣
5	循環器疾患の臨床医学 1	田邊一明
6	循環器疾患の臨床医学 2	田邊一明
7	小児の臨床医学 1	小児科学講座 教授の予定
8	小児の臨床医学 2	小児科学講座 教授の予定
9	外科疾患の臨床医学 1	織田禎二
10	外科疾患の臨床医学 2	織田禎二
11	脳神経の臨床医学 1	秋山恭彦
12	脳神経の臨床医学 2	秋山恭彦
13	麻酔・全身管理の臨床医学 1	齊藤洋司
14	麻酔・全身管理の臨床医学 2	齊藤洋司
15	手術に関する臨床医学 1	佐倉伸一